全國九百廿三團體に金一封宛御下賜

畏し各種社會事業御獎勵の思召

【東京電話】畏き邊りでは紀元の佳節に際し御恒例により各種社會事業御獎勵の思召を以て私設社會事業團體法人、北海道社會事業協會その他の事業團體に對しそれぞれ金一封宛御下賜あらせられる旨、十日御沙汰あらせられた

この度の光榮に浴する團體は内閣所管十六、司法省所管二百七十、文部省所管五十七、遞信省所管二、拓務省所管百二十一、厚生省所管四百五十六、總計九百二十三團體におよび、御下賜金は二千餘萬圓と拜承するが、關係各團體においては御仁慈のほどに恐懼感激してゐる

なほ右御下賜金は紀元の佳節を卜してそれぞれ地方長官より傳達される

半島の社會事業へ御内帑金を御下賜

和光教園外六十七團體が拜受

十一日の紀元の佳節に當り畏き邊りより半島私設社會事業團體和光教園外六十七團體に對し多額の御内帑金を下賜あらせらるゝ旨の御沙汰を拜し十日南總督は次ぎの如き謹話を發表した

南總督謹話

【寫眞＝南總督】

畏き邊におかせられましては社會事業の御獎勵に特に大御心を用ひさせられ毎年紀元の佳節に當り全國の優良社會事業團體に對し御内帑金を下賜あらせられたのでありますが、今回亦本年の紀元節に當りまして半島の私設社會事業團體たる財團法人和光教園外六十七團體に對して多額の御内帑金を下賜あらせらるる旨の御沙汰を拜し有難き思召に對し洵に恐懼感激に堪へない所であります

御下賜金は紀元節當日各團體の代表者を道廳に召集して道知事より夫々傳達せしむることに致して居りますが、御下賜金を拜受致しました各團體におきましては天恩の洪大なるに感激し益々事業の進展に懸命の努力を拂はるゝものと信じます

總督府におきましても、時局の重大に鑑み社會事業團體に對する指導督勵に一層力を致すと共に更に斯業に對する講究を進めまして國民生活の安定に人的資源の涵養に資し以つて聖旨に副ひ奉らんことを期する次第であります

御下賜金拜受社會事業團體

京畿道

▲京城府　財團法人和光教園、財團法人京城佛教慈濟院、財團法人京城保育院、天主教會保育院、財團法人鎌倉保育園京城支部、救世軍厚生學院、財團法人京城教護會、財團法人朝鮮社會事業協會、財團法人東和會保館、明進舍、財團法人保?會、京城北部隣保館、朝鮮幸町財團乳幼兒健康相談所、立正學院、財團法人京城養老院、救世軍育兒ホーム、京城培光學園

▲仁川府　仁川天主教會隣保育院、仁川佛教慈田院、仁川救護會

▲開城府　財團法人開城大成會、開城有隣館

▲水原邑　水原公會孤兒院

忠清北道

▲清州邑　清州博仁會、財團法人忠北有隣會

忠清南道

▲大田府　財團法人大田自彊院、大田佛教慈濟會

▲公州邑　鷄林慶濟院、公州信業院

全羅北道

▲全州府　財團法人全州少年保育園、財團法人全州有隣會

▲群山府　財團法人群山誠之會

全羅南道

▲木浦府　木浦府共生園、財團法人木浦成美會

▲光州府　全南共濟會、財團法人光州有隣會

▲麗水郡　麗水愛養園

▲求禮郡　求禮孤濟院

▲高興郡　小鹿島更生園

慶尚北道

▲大邱府　大邱愛樂園

▲大邱府　慶北救濟會、財團法人大邱常成會、天主公教修女院附設女子孤兒院、財團法人朝鮮扶植農園

慶尚南道

▲金泉郡　財團法人金泉向善會

▲釜山府　財團法人釜山共生園、財團法人釜山輔成會

▲統營邑　統營立正慈教會、財團法人大師館病院

黄海道

▲海州府　財團法人海州救世療養院、財團法人海州濟美會

平安南道

▲平壤府　中鮮佛教慈濟會、財團法人平壤有恒會、財團法人平壤孤兒院、平壤養老院、平壤私立盲啞學校、財團法人平壤慈生院

平安北道

▲新義州府　財團法人新義州自制會

▲宣川邑　財團法人大同孤兒院、宣川邑信義養老院

▲義州邑　義州天主公教養老院

江原道

▲春川邑　財團法人春川同胞會

咸鏡南道

▲咸興府　財團法人咸興慈惠會

▲元山府　財團法人元山陽?

咸鏡北道

▲清津府　財團法人清津行旅病人救護所、清津私設託兒保育院、羅南佛教慈惠會

農村の指導者に

知事から表彰狀授與

農村に在つて生産力擴充のために共同作業、早期植付など半島の負荷する重大責務の完遂に努め總力戰推進を遺憾なからしめた功勞者として十一日の紀元節を卜し總督から表彰される指導者と部落中心中堅人物は全鮮から廿六名づつ合計五十二名で、當日それぞれ各道知事より表彰狀授與式を擧行するが榮譽者の氏名は左の通り

◇指導者

▲京畿道　（利川郡廳長面書記）李家源宗（水原郡陰德面書記）松本高旺

▲忠清北道　（清州郡江内面書記）南永熙（忠州郡周德國民學校訓導）松田文熙

▲忠清南道　（扶餘郡全富面書記）眞山博（瑞山郡安眠面婦人教化囑託）大原政子

▲全羅北道　（任實郡任實面長）永井龍南（鎭安郡馬靈金融組合支所副理事）岡村利泰

▲全羅南道　（唐津郡城田面長）光谷秀雄（順天郡雙巖面長）政本延茂

▲慶尚北道　（慶州郡甑本簡易學校訓導）吉本光雄（安東郡臥龍面書記）金山文治

▲慶尚南道　（河東郡赤良面長）明山芳仙（昌原郡東面）大林雅

▲黄海道　（延白郡海月面）

▲平安北道　（寧邊郡泰平簡易學校訓導）森松富義（龍川郡東下面長）新井清文（義州郡州内面長）大山光弘

▲江原道　（春川郡春川第一金融組合理事）開城昌（原州郡地正面）林簡易學校訓導）酒河宣彦

▲咸鏡南道　（端川郡富豐面書記）松岡茂雄（長津郡東下面長）林興垣

▲咸鏡北道　（明川郡金融組合書記）金城德雄（鏡城郡龍城簡易學校訓導）

◇中心、中堅人物

▲京畿道　（開豐郡臨端面細江里（區長）李家教勳（始興郡西面日直里）（同）松岡

▲忠清北道　（沃川郡西面南水里）（區長）吉田勇（報恩郡報恩面之山里）（中心人物）國本義雄

▲忠清南道　大德郡北面鶯里（部落中心人物）森山論山郡彩雲面上里（同）豐川

▲全羅北道　井邑郡古阜面龍安里（部落中心人物）（沃溝郡大野面竹山里）大城元錦

▲全羅南道　海南郡上?面上?里（部落中心人物）咸平郡鶴橋面月山里（同）

▲慶尚北道　義城郡丹密面開榮洞（部落中心人物）青松郡青松面月外洞長）平沼慶鎭

總力運動功績者

本日、全鮮一齊に表彰

地方における國民總力運動の實踐に盡瘁しその功績顯著なるものに對する昭和の表彰者については各道聯盟會長の推薦に基き朝鮮聯盟において銓衡中のところ左の如くこれを決定、二月十一日紀元節の佳節を卜し聯盟總裁名を以て全鮮一齊にこれを表彰し、十一日道聯盟又は府郡島聯盟において表彰狀並に表彰金一封の傳達式を行ひ、その功績をたゝへることとなつた、因に表彰者の内譯は次の通り

一、町洞里部落聯盟　一一四（内各種聯盟二を含む）
二、同愛國班　六
三、町洞里部落聯盟理事長　一四
四、同愛國班長　二
五、その他　一〇
計　一五四

表彰聯盟

京畿道　忠清北道　忠清南道　全羅北道　全羅南道　慶尚北道　慶尚南道　黄海道　平安南道　平安北道　江原道　咸鏡南道　咸鏡北道

表彰聯盟員

京畿道　忠清北道　忠清南道　全羅北道　全羅南道　慶尚北道　慶尚南道　黄海道　平安南道　平安北道　江原道　咸鏡南道　咸鏡北道

模範産業戰士

總力聯盟で表彰

國民總力朝鮮聯盟では十一日の紀元節を卜し全鮮の工場、礦山中より選ばれた模範産業戰士四十八名に表彰狀並に記念品を贈ることとなつた

被表彰者氏名

▲岩間太郎（京城）▲伊東勝錫（同）（同）▲宮川長城（仁川府）▲宮崎一三（同）……

大日本傷痍軍人會表彰式

皇民としての錬成【上】

内鮮一體の大理想はこゝに

城大教授　尾高朝雄

學徒に望む

尾高城大教授は十日午後六時半より京城放送局のマイクを通じ「學徒に望む」と題する放送を行ひ、決戰下における半島學徒の使命を説き内鮮手を携へて互に切磋琢磨、皇國臣民としての錬磨に邁進することこそ現下朝鮮に學ぶ學徒の覺悟であらねばならぬと強調、この崇高不動の自覺こそ眞に以て大東亞の指導者たらんとする學徒の進むべき道であると全半島學徒に説いた、以下その放送要旨である

【寫眞＝尾高氏】

今晩は「戰時下の學徒に望む」といふ題でお話申上げることになりましたが、學徒と申しましてもその範圍は非常に廣いのでありまして、尋常一年の兒童も既に學徒であります し、私共のやうに主として實際で仕事をしてゐるものは死ぬまで學徒であります、かやうな廣範圍の方々に向つて一樣にお話をすることは到底不可能でありますから、私は主として專門程度以上の學校に學んでをられる青年生徒の皆さんと、膝をつき合せてとつくりと話するといふやうな氣持で、所見や希望の一端を率直に申し述べて見たいと存じます、昨日は各學校で大東亞戰爭下第一回目の大詔奉戴式が行はれました、明日は皇紀二千六百二年の紀元節であります、今宵はかやうな最も意義深き二つの日の間に挾まれてをりまして、私共が眞劍に新たな覺悟を固めるにきはめてふさはしい機會であると思ふのであります

惡魔メフイスト

ゲーテのフアウストを讀んで見ますと、哲學や醫學や法律學や神學など、あらゆる學問の奧を極めたフアウスト博士が、なほかつ滿ち足りない氣持に悩まされてゐるところに、惡魔メフイストフエレスがスペイン風の貴公子の姿で現れてフアウストを誘惑致します、するとフアウストは他愛もなくこの誘惑に負けて、歡樂と墮落の生活に沈湎して行くのであります、ゲーテの劇の終りには、フアウストが惡魔との約束に身を任せてあらゆる享樂の淵に沈湎しながらも、遂にこれらの惡魔的なるものに打ち勝つて天國に昇るところが描かれてゐるのでありますが、その最後に當つて、フアウストが初め色々な學問をしながら果てその學問のために惱まされて惡魔の道に走つたといふことは、私共お互に學問に携はつてゐる者として深く戒めなければならない點であると考へるのであります

持て必勝の信念

すなはち、學問には必ず疑ひといふものがつきまとふのであります、知識は、物事に疑ひを持つといふところから始まるのであります、その疑ひが學問の對象に向けられてゐる場合には、それは正に眞理探究の原動力であります、しかしながら、學問の對象についで抱く疑ひが一たび學問する者自身の內面生活に浸潤して參りますと、そこには恐るべき懷疑思想の深い淵が口を開けて待つてをります、そこへつけ込んで惡魔メフイストが學徒の純眞な魂をそそのかし始めるのであります、いはゆる蒼白きインテリの惱みから始まつて、或は國策に反し、或は國體に悖るが如き思想に走るのは、いづれもそれであると申さなければなりません。故に學徒たる者の片時も忘れてならぬ重大事は學問の道における疑惑や批判と、生活態度そのものの惑ひとをはつきりと切り離すといふことであります、學問の上では常に新たな疑問を抱き、その疑問を通して新たな眞理を發見することに努めなければなりませんが、生活上の態度としては飽迄も毅然たる自信を持ち、確乎不動の信念に立脚することが必要であります、その自信とは何でありませうか、それは、我々は日本人であるといふ自覺であります、またその信念とは何でありませうか、それは道義の理念に基づく日本の行動は、必ずその目的を貫徹し得る、否必ず我々の力で是非ともこれを貫徹して見せるといふ信念、即ち、今や大東亞戰爭下における必勝の信念であります。

知識人の四弱點

滿洲事變から今日に至る十年間、日本は終始一貫した方向に向つて巨大な歩みを進めて來たのでありますが、その間にはまたこの大きな流れを喰ひ止めようとする力や、これに逆行しようとする動向などが働いてゐたこともまた否定し得ぬ事實であります、しかもさやうな傾向が、いはゆる知識階級の人々に多かつたといふことも、遺憾ながら認めない譯には行きません、これもまた唯今申したやうな、知識人の物事を疑ひ易い態度が、生活そのものにふりむけられ、日本の踏むべき道についての懷疑となつて現れたものに他ならないのであります、九ケ國條約や不戰條約があるのに、滿洲事變などを起して了つて、此の先どうなることか、といふやうな疑惑もそれでありました、ジユネーヴで松岡さんが世界を相手に大見得を切つたのはよいが、その結果として日本は全く孤立して窮地に陷るのではないか、といふが如き悲觀的觀測も行はれました、支那事變が始まつて、上海、南京、武漢三鎭と次々に陷れて行つたのは立派だが、それは單に武力戰のみの勝利であつて、その中に日本は經濟戰での破綻を示すのではないか、といふ憂慮も、多くの知識人の腦の中に喰ひ入つてをりました

更に皇國の進路明か

……

元兇米英の謀略

日本が數四ケ年……

洋裁が……自宅で習へる

一歩進んだ簡易裁斷法の……

敵砲聲が子守唄

捷報に髭もじや顔が涙で笑ふ

バタアンの要塞攻略戦

【比島前線○○にて十日同盟特派員】晝夜咆哮しつゞけてゐる敵の砲兵陣地を制壓にゆくのだらうか曉の爆撃隊はけふもまた爆音を羽搏かせて乳色の朝靄を衝いて南の空へ飛んで行つた、勇士達はマリベレスへはやる心をこの爆音に託して無性に勇み立つのであつたが、ナチブの要塞をむざ〳〵皇軍の手に委ねたバタアンの米比軍はナチブ以上に難攻不落を誇るマリベレスの要塞を最後の陣地として死物狂ひの反撃戦をつゞけてゐるのだが、完全に敵の死命を制したとはいへわが包圍圏内にある陣地は未だ皇軍に決戦を交へないアメリカ正規兵部隊を主力としたアメリカ東亞軍の大半が恃みとする陣地で、高さ一千五百メートルのマリベレス山を擁した東西廿キロの大戦場

密林屋む濱の密林地帯である、これからまた幾日か物凄い砲撃戦が繰返へされるだらう、肉彈猛攻の一語に盡きるバタアン要塞攻略戦の全貌を傳へるため戦線日記を綴いて見よう

○月○日 砲聲の絶つたバタアンの空は毒々しくも美しい、兵士達が空を仰いで胸一杯に吸込んだ大氣は硝煙に燻つた胸を洗つてゐるのだらう、友軍の猛攻撃を喰ひ止めようとする敵の狂氣染みた砲撃は勇士達の宿營内を狙ふやうに一夜中その周圍に炸裂しつゞけたが、幸ひに友軍には損害はなかつたらしい、道路上を精悍な勇士達が前線へ前線へと進撃して行く

○月○日 夜中撃續けてゐる敵陣地は夜が明けると不思議に

も沈默してしまふ、これを不思議に思つてゐた勇士達も數時間の連絡將校から「友軍の飛行機が飛んでゐる時は決して撃たないやうだ」と説明されてはじめて合點がいつたやうだ、夜が明けてその砲兵陣地を見散すと敵ながら天嶮の密林を利用してゐるのだ、空からの偵察では容易ではないらしい、時折遠雷のやうな砲聲が聞えるが、あれは友軍機の飛び去つた頃を窺つて來るのだらう、夜に入つてから敵の砲撃は猛烈になつて來た、山の彼方でピカツと信號が揚つたかと思ふとダダンと大きく發射音が身近に響いた、すぐガンと金屬性の炸裂する音をたてて三發連續音で、主に海岸道方面らしい、勇士達はわが身の危險を忘れていつまでもこの花火に似た華麗な閃光を見詰めてゐる

○月○日 友軍の砲撃がいよ〳〵猛烈となつて來た、これまで海岸道を狙つてゐた敵の砲撃も密林地帯に集中しはじめた、豆を煎るやうな機關銃聲と鋭い迫撃砲や野砲の銃砲聲が間斷なく聞えて來る、前線から護送されて來る捕虜の數が漸く増して來た、淺黄色の折襟を着た住民兵が不安の表情もなければ恐怖の顔色もなく捕虜となつて却つて安心した面持ちである、恐らく合戦なく前線に送出さ

れアメリカ人部隊の督戦のごとき激戦に初ち集づき逃亡して來た者だらう郷の避難にやうやく正氣を取戻して眠りとける捕虜さへある

○月○日 ○○部隊から連絡將校が歸つて來た、われ〳〵の豫想したやうに戦闘は猛烈で昨夜の夜襲戦のごときは肉彈戦に終始したのであつた、連絡者の話によると○○部隊の進撃を察知した敵の砲撃は友軍の夜襲を恐れてか狂人のやうに咆哮し密林を狙ひ撃すやうに炸裂しつゞける、突撃路もなければ友軍と連絡する方法もなく一歩壕から飛び出さうものなら將棋倒しを覺悟せねばならぬ、しかし夜襲隊はその彈雨を潜つて壕から敵の第一線陣地に肉薄して行つた、鐵條網に取つ付いた勇士は降ふ銃撃を浴びながら身をもつて突撃路を開いた、『天皇陛下萬歳』とあの崇高な叫びが勇士達の祖國愛を如何に沸き立たせたことであらう『戦友の仇を討て』『無駄死にさせるな』勇士達が後から後からと戦友が開いた突撃路を驀らに突撃した、慘憺壯烈の肉彈戦は彈雨の中を數日にわたつてつゞけられた、皇軍の血の猛攻は遂に奏功した、敵は第一線陣地を友軍の手に奪取され血に彩られた日章旗は燦然として朝日に輝いたといふのである、あすはかういふ山にまたかうした血の出るやうな

激闘がつゞけられることであらう

○月○日 「ナチブ山に住民兵が非常に多いらしい、なるほど住民兵が五人兩手を後手に縛られて樹に結びつけられてゐる、こんな慘虐が敵兵によつて行はれてゐるが、これはアメリカ兵の軍紀の亂れを物語るものだ、「勝つてやらうぢやないか」と九州訛りの兵隊さんがいひ出して埋葬してやつたが、アメリカ兵の野蠻行爲は枚擧に遑ない住民を憤慨させてゐる

○月○日 ナチブ山の第一線陣地を突破して第二線陣地への猛撃がつゞけられてゐる、砲撃がいよ〳〵激しく或は第一線部隊或ひは後方部隊と間斷なく撃つて來る、兵隊さん達もすつかり砲撃に馴れ染んで砲聲が聞えなくちや寂しいと冗談をいひ出すやうになつた、○○部隊長の語るところによるとこの部隊が遭二無二押し切つたカマギヤン峡谷は深さ百メートル近くもあり、敵はこゝを猛烈に撃つて來るので勇士達は已むなく岡の登り坂にへばりついてゐる三日間が道の塹壕内に入つたが、リズミカルな砲撃と渓流のせゝらぎは實に氣持よい子守唄でも聽くやうで、眠ずうつとりとなつたといふしかしこの砲撃戦もけふあたりが峠ではなからうか

闇に消える決死の白襷

一瞬、揚る成功の炎

次々に上陸する舟艇群

【ジョホール水道渡過地點にて九日同盟】前夜ジョホール水道の前方○○に野營した記者は八日早朝軍用トラックに便乗してさらに前進した、一二三日前までスマトラ邊りから出撃して來た敵機も今日は戰力盡きたものと見えて一機も姿を現はさず上空にはわが荒鷲が颯々飛交ひシンガポールの空は全くわれの制壓下に歸してゐるゴム林を抜けて水源類の繁生した沼地に出る、愈々マレー半島突端水道までは約○キロこゝから東方に前進した、時に八日正午、一時間二時間わが砲撃は愈々猛烈となり文字通り天地を震撼させて轟き渡る、對岸の敵陣地は砲煙外に霞い、記者等はさらに前進して再びゴム林を抜け北側堤上に頭を出して敵陣を望む、目指すシンガポール島北岸はすでに指呼の間だ、熱帯は丘陵で蔭濃い熱帶植物が生ひ繁つてゐる中に

赤土の道

が數條走つてゐる、その丘の中腹には、砲彈が盛んに赤土を吹き飛ばしてゐるのがハツキリ見える

彼我を隔てるジョホール水道の水は眞青に澄んで波一つない眞ん中にヨツトと白鷺が白い浮漂が腹眠もよそにのんきにさまよつてゐる、重任を帶びる○○部隊長を陣中に訪ふ、ゴム林中に張られた四尺四方位の天幕中

で部隊長は悠々指揮をとつてゐる、汗まみれの服に地下足袋、卷きゲートル、右手に日の丸の扇子を握つて同じ姿の幕僚を督勵しながら「猛いぞ〳〵俺の所の兵隊は」と豪快に笑つてゐる、午後五時沛然とスコールが來る休憩中の兵隊さんが眞つ裸になつて雨にうたれてゐる、雨とともに雷鳴轟々と鳴りはじめ砲撃と入り混つてなんともいへぬ物凄さだ、雨も晴れる、いよ〳〵渡過附近へ前進、道はすでにわが○○部隊の活躍で約二メートル幅に綺麗に切り拓けてゐる、整然と行進する兵達はみな敵前渡過の

先陣を承

る決死の勇士達だ、眞赤な夕陽が西に沈んで漸く暗くなる、月はないが満天の星は降るやうに

輝いてゐる

途端に左右兩側から同時に煌々と敵の探照燈が水道を照らし始めた「畜生」張切るわが將兵は、狂へる如く水面を走る光芒を睨んで一層の闘志に燃えわが砲撃は愈々猛烈さを加へる、敵前渡過の命令は遂に發せられた、既にジョホール水道のほとりマングローブ樹の蔭で船に乗込んで待機中の將兵の顔に緊張の色が走る眼前に横たはるジョホール水道は夜霧がかゝつて對岸はハツキリ見えないが、ゆるやかな丘陵が墨繪のやうに浮かぶ岸は間斷なく落下するわが巨彈に一面火の海と化し低迷する煙を眞紅に映えて輝き際まりなく時々敵

の探照燈の青白い光りが物狂はしく交叉する、機は熟した、午前零時十字に襷なす白襷に決死の決意を示し太刀を振り抜いた颯爽たる

隊長の聲

「出發」艇も音一つ發するものはない、一二三の兵の首からは亡き戰友の遺骨が夜目にも白く擇げられてゐる

隊長の右手がサツト擧る舟艇群は一齊に爆音を立てて矢のやうに走り出した、五十メートル、百メートルやがて白襷は闇の中に消えてしまつた「成功してくれ」ちつと眼を閉ぢて祈ること數時辰時十六分對岸にパツト緑色の信號彈が揚つた、續いて赤色の信號彈、敵前上陸成功將兵達は泣いてゐる、記者も感激胸に迫り涙が止まらない、なんといふ

感激の一瞬……マレー半島國境突破以來二ヶ月マレー攻略の終局を意味するジョホール水道敵前上陸は今こゝに成つた、ジャングルに臥しゴム林を衝いて進撃した我將兵の努力は今ここに實を結んだのだ、皇軍は遂にシンガポールの島に立つたのだ、見上げる空にカシオペアが輝いてゐる、記者の胸は息苦しいまでに歡喜が溢れてゐる、すでに

上陸部隊

は戦闘を開始してゐるらしく銃聲がきこえる、轟然と炸裂し晩ける友軍砲彈の間隙を縫つてダツダツダツと友軍機關銃の音が起つてくる、つゞいて第二陣、第三陣猛烈な敵十字砲火を縫つて次から次へ敵前渡河は決行されて行く、われ〳〵もこの記事を打終るや舟艇に飛乗つてシンガポール島に向ふのである

交す必勝の微笑

悠々綽々たる山下總司令官

燃える獅港背景に記念撮影

【ジョホールバール特電九日發】マレー半島に反撃の進撃に終止符を打たんとする、その寸前記者は我シンガポール攻略軍司令部に初めて會見を許された記者等から去る一日の感激と自然

えつゞけてゐる、シンガポールセネター軍港の重油タンクの黒煙が濛々と天に沖するのが手に取るやうに見える戦況を前にして山下總司令官は、今日ここに各部隊長、幕僚等を集めて最後の打合を兼ねての午餐會を開いてゐる、將に歴史的な午餐會である、午餐を終つたと思ふところ、軍裝の大刀の柄を握つてスツクと正面玄關に立つた巨大漢があつた、これこそ山下總司令官その人だ、記念撮影をやる準備が出來てゐた「時間をかけずに早くせよ」といひながらもニコヤカな表情を見せる、力強い聲が號令のやうにキン〳〵響く、この聲に應ずるやうに山下司令官を中心に

玄關

前の芝生にズラリと並んだ顔を見れば部隊長の幕僚ばかり、何れも百戰錬磨の名將達の顔ばかりだ、燃えるシンガポール島を背景に悠々カメラに納る時是識の面もちは、既にシンガポールを呑んで頼もしい、撮影を終ると嚴い軍手の禮に必勝の微笑をなして、部隊長達は三々伍々丘を下つて行く、部隊の配備は終つ

戦ふ銃後の備へ

進んで代用品を使用

南總督・戦時經濟展參觀

〝戦ふ銃後に遺憾の備へ〟資源特別回收と代用品の普及徹底を期す戦時經濟展覽會は、興亞の聖業完遂に燃えあがる府民の熱意で連日盛況を呈してゐる十日午後一時すぎ暇を割いた南總督は鈴川司政局長並に近藤秘書官を從へ第一會場たる南大門三中井百貨店にひよつこり姿を見せ、矢野京城府尹の案内で見さに場內を一巡、征戦に参加する銃後の經濟狀態を興隊に應機に汲みとり卅分に亘つて會場を參觀巡禮したが、次の如き感想を洩らした

「金屬製品に動員令が行はれるが製造禁止品目は全て陶器で間に合ふものだから一般大衆は進んで代用品使用に邁進して貰ひたい、また高度國防國家完成の推進力たる國民貯蓄は各種金融機關、個々の勤勞で府民が困却する場合が往々あるが、この貯蓄獎勵方法は一元化せねばなるまい【寫眞＝會場を參觀する南總督】

怨みの巨彈！

めざましい黒い砲兵隊

【ジョホールバール十日同盟】シンガポール島攻略に際してインド人の砲兵隊が日章旗のもとに參加多年にわたる英の壓制に巨彈をもつて猛烈に反撃した、この黒い砲兵隊は投降兵で編成されたもので砲も彈藥も鹵獲品、シンガポール島に對する皇軍の大砲撃が始まるとじつとしてをられなくなつた印度人投降部隊が「ぜひわれ〳〵も一枚加へて恨み積るシンガポールに大砲を射ち込ませて下さい」と熱心に申出るので「それではやつてみろ」と一隊を纏めあげたのだこの印度人部隊、今までのやうに月給欲しさに働くのではなく恨みを晴らさんとの本當の戦闘意慾に燃えてゐるので、かつて知つた要塞やトーチカに射ち込み、敵弾はなか〳〵物凄く、ことに九日朝からの一齊砲撃には不休の砲撃を續けてゐる、黒人隊長は

胸がすーつとします、かうやつて堂々と英國軍に砲撃を加へるといふことは永い間のわれ〳〵の夢でした、いくら射つても射ちたりません

といつてゐる

黒衣の天使に贈る

日赤募集の當選作文

野戰に銃後に盡瘁する愛護府兵の聲と黒衣天使の光榮とその奮闘を銃後國民に知らせ併せて赤十字に對する認識を深めようと日赤朝鮮本部で全鮮の生徒、兒童から募集中であつた〝赤十字に因める感想文〟は數もしい銃後の熱意を盛つて十二萬三千餘點といふ記錄的數字を示し締切り、その後第一次二次の審査を行ひ更に總督府情報課務局長を審査員に第三次の銓選を行つた結果〝赤十字看護婦に學ぶ〟と題する京城第一公立高等女學校五年生久納民子さん（一七）が一等の榮冠を獲得、十一日紀元の佳節をトし入賞者をそれ〴〵發表された

一等＝赤十字看護婦に學ぶ（京城第一高女五年久納民子）▲二等＝一輪の白百合（大邱高女四年國澤明子）同＝征野の月（京城第二高女二年尾高節子）▲三等＝半島の從軍看護婦（慶北高女二年國原順恵）同＝祖國の花（全州高女三年岡田美代子）同＝赤十字の旗を仰ぎて（京城第一高女五年吉崎瑟子）▲外佳作十點、入選十點が決定した

郷原會の榮譽を擔ち得た久納民子さんを第一高女に訪へば〝まあ私のが一等になるなんて〟と喜びを左の如く語つた

看護婦さん達の涙ぐましいお働きを毎日の新聞や雜誌で見る度に第一線で戦つていらつしやる兵隊さんや從軍していらつしやる看護婦さんの姿を想像して感謝してゐます、日赤の懸賞募集を見た時何んとなく書いて見たい氣持になつて書いたのですか思つてゐることが十分の一も書けませんでしたのに入選するなんて驚びの言葉を途中で呑み込んだ【寫眞＝久納民子さん】

舊正絶對にやめよ

國民總力京畿聯盟では來る十五日の舊正月を前に府尹郡守、邑面長に對し次の如き通牒を發した

南に北に皇軍の戦果はそれこそ目ざましいものがある、その勞苦を思ひ、ましてシンガポール陷落も目睫に迫へいよいよ大建設を戰ひ抜かんとする銃後で今頃舊正月などと騒ぐに就いてゐるなどは誠に恥しい限りである、來る十五日は舊正月であるが、この舊習は農村よりむしろ都會地に甚しいと聞くが闘に遺憾なことで、舊會の申合せ通り今年こそは斷然やめてもらひたい

用達料金公償

料金に一齊に變化しが多くボラれ……

陷落の花電車

京城府民が贈る

陷落第一報へ沸き上つた百萬府民の神へ切れない歡喜に應へて、京電では早くも近づく陷落入城の日を前にして當日の街頭に演出を飾るための花電車を製作中である

▲その一つは天の岩戸を象徴しその中に南方共榮圏の地圖を織り込んで前に神代の武人を立て、肇國化した八紘一宇の精神を現し、その兩側には陸、海兩軍人の勇姿を描いた象徴

▲その二は大東亞諸民族の歡喜を現したもので、友邦泰の美人が踊り狂ふ華麗なもの

▲その三は國道交通車にイルミネーションを施した眼の醒めるやうな花電車だが當日は京電ブラスバンド隊廿人が乘り込んで車内から國民に陽氣な軍歌を送ることゝなつてゐる

雄々し開拓へ起つ

香隣園兒ら濟州島へ

濟州島に眠る男子は兇猛開拓戦士として雄々しくも一……した京城香隣園の壯行會は、十日午前十時昭和通り……本社主催……

基督教徒の誠

……日本的キリスト教として再……皇民道を實踐してゐる……恤兵金として三萬圓を先ほど同會に獻金、多大な感銘を與へてゐる

京日文化映畫劇場で各種府會事業、國民代表及び名月會員出席のもとに國民儀禮に次いで本社寺……

シ港上陸に感激して獻金

京城府西小門町三八京城三共商同事務所の職員一同は皇軍のシ港敵前上陸に感激し七百五十圓を獻金するため十日代表高木益雄、總務部長正峰氏、檢事長堀永正一氏が軍司令部を訪れ手續きをとつた

……一方であつたメセンツヂャーの最高用達料が決定、九日から實施された、これによると通常用達物品の用達が一區（二キロ）が二十錢以内で一區を越える……

場合一キロにつき五錢を加算……

戦つてゐる兵隊さんへ

龍仙學院兒童

平南龍岡郡龍川面龍仙里の龍仙學院兒童會では、昨年十月上旬から敵機にかけて戦線の兵隊さん達に……

幼兒燒死

十日午後零時四十五分頃新堂町文化村山ノ一七……方台所から出火、附近廿七戸を全燒させて同一時半鎮火した……

林檎を焼く

九日午後八時十五分頃京城府中林町二○……

急特題料

☆……感興三井支店長……
☆……私達はお國のために……
☆……これを讀んだ……

永同邑長 鄭山明久 儀二月八日午後九時永眠致し……謹告

京城版

又新國民學校紀元節奉祝式 京城又新國民學校では十一日午前十時から同校講堂において紀元節奉祝式を厳粛に擧行する

心强い府民の赤誠

『府民號』の献金七十萬圓を突破

矢野府尹・感激を語る

獅子島に皇軍が果敢な突入をなした感激のその日、われらの献納機『京城府民號』献金の府關係締切は完了、百萬府民の赤誠は累計七十一萬二千百二十一圓四十二錢の巨額に達し百卅一町會の誠は黄金の山と積まれたのである、府民號献金の赤誠に感謝し矢野府尹は語る

七十一萬圓を突破した献金は實に百萬府民の赤誠の迸りを示したもので欣快に堪へない、大東亞戰爭勃發直後から街へ自然に献納熱が盛り自發的にこの企てがもち上つたものであり、我我の要求や慫慂によつたものでないことは眞に心强いものである、府當局もこの美しい計畫の申入れを心よく受けたわけで國を賭しての大戰下に一入意義あることであり町總代、町聯合會、總力聯盟實踐部の各當局の賢明なる活動と府民一致の熱誠によつてこの献金を得たことは誠に御同慶に堪へない次第である

輝く篤行者九名

孝子、節婦等を表彰

ふけ 紀元の佳節

獅子島突入の國民的感激さめやらぬ十一日輝く紀元節を迎へいよいよ戰後の意氣はいよいよ沸騰點に達しているが、この佳き日京城府では府會議事室に午前十時から孝子、節婦その他篤行者九名の表彰式を擧行するが、これとともに同零時半から府民館中講堂で優良町會、永年勤續町會總代、永年勤續町會聯合會長國民總力運動功績者の表彰式を行ふことになつた、被表彰者は左の通り

◇孝子、節婦 林スギ(芳山町九八)小内山小美賀(黄金町五ノ一二七)駒田あさ(黄金町四ノ二七四)李光分(永登浦町四三ノ五)金海國(大觀町五六)須崎村 玉之助(敦町三三)廣田通餘子(義州通一ノ三三)尹彰桑世(新堂町三五三ノ五)(城北町二四七)

◇町會 明治町▲本町五丁目▲漢江町▲西部第一區▲仁旺町▲明倫、惠化町▲鍾路四、五丁目、鍾路町▲東亭、梨花、蓬萊町

▲三坂通町▲南米倉町二丁目▲典農、路上里、清凉里町▲上往十里町▲新堂町、舞鶴町▲崇仁新設町、▲鷺梁津、上道町▲道林町東部、新吉町西部▲孔德町本部

◇永年勤續町會總代 旭町二、三丁目町會瀬戸潔(勤續十年)

◇永年勤續町會聯合會長 龍山町會聯合會廣瀬徳太郎(勤續十二年)

◇國民總力運動功績者 崇仁、新設町會聯盟▲道林町東部、新吉町西部町會聯盟▲本町黒川宮作▲清凉里野坂清成▲永登浦梶山喜美▲仁寺町國本重成

獅島陷落祝賀の記念貯蓄

龍山郵便局で實施

皇軍シンガポールに突入せり——

獅島上陸に感謝

白さんが五千圓献金

瑞麟町九七白泰圭氏は十日、獅子島上陸の皇軍に感謝して金五千圓を鍾路署に差出して國防献金した

皇軍に捧げる"貧者の一燈"

これと京城鍾路四丁目映畫館第一劇場前で一錢硬貨を商ひ、以來病身を押して鍾路四丁目映畫館第一劇場前で一錢硬貨を商ひ、細々儲けた金で家族五名を養つてゐたが、大東亞戰に際してこの病躯ではお國のお役にも立てない、八三安田成男さん(三七)は昨年八月の一燈を捧げた話、京城東大門町一

とせつかく苦心して蓄へた貯金五圓を携へて東大門署を訪れて「これを兵隊さんへ捧げます」と嬉しい献金をした

紀元節奉祝青年の夕

皇紀二千六百二年紀元節を迎ふる輝く紀元節を奉祝し、京城府聯盟では午後七時から府民館で『紀元節奉祝青年の夕』を開催することになった

當夜は國民儀禮に次いで紀元二千六百年紀元節に賜はりたる詔書奉讀あつて『大東亞戰爭への感激』と題し志願兵訓練所生徒山口茂盛君、京城・青年隊岩佐秀雄君、綠旗聯盟青年隊平昭島秀君が熱辯を振ひ『大東亞戰爭に際し青年に望む』と題する黒木海軍大佐の講演があり、皇國臣民の誓詞斉誦の後鐵道局吹奏樂團、同合唱團の吹奏樂と合唱あつて大東亞戰爭ニュース、文化映畫を上映することになつてゐる

シンガポール占領祝賀情景

寫眞献納

前線將士へ贈る慰問寫眞を募る

戰士自ら血に迫つたシンガポール陷落、百年に亘る東亞平和の攪亂者ー元兇英を完全に追放するの日は近い。この日、無敵皇軍の赫々たる武勲を讃へる國民的感激の一大祝賀は全鮮に繰展げられる。全朝鮮寫眞聯盟はこゝにシンガポール陷落の祝賀情景寫眞を軍當局に献納、前線將士にこの世紀の感激を傳へんとする。全鮮の寫眞同好家よ。諸君の誠心こもつた作品こそ米英擊滅に奮ひたつ勇士の銃後を守るのだ。勇つて献納寫眞に應募せよ。寫眞報國の秋は來たのだ。

—募集規程—

應募作品・本聯盟に於て取纏めの上軍當局に献納しこれを前線各將士に贈る

課題・シンガポール占領祝賀情景に關する一切

大きさ・カビネ判に限る

點數・制限なし、但同一種類のもの多數希望

締切・シンガポール占領後十日以内

送り先・京城府太平通京城日報社内(全朝鮮寫眞聯盟宛)(印畫裏に住所、氏名明記のこと)

—全朝鮮寫眞聯盟—

全鮮の寫眞家總動員

殊勳の「子寶家庭」を訪問

子福者は國の寶、生めよ殖やせよ地に滿てよ——紀元節の佳節に京畿道が表彰する府内から選んだ五家族は、いづれも劣らぬ殊勳の子福者揃で、その蘊蓄かけた秘法こそ神から與へられた自然の力を最大にこの世へ實したものなのである、ではこのめでたき人々の家を次ぎ訪れて、そのいふところを訊くとしよう

部隊長夫婦は双方十四で結婚

十人の子福者趙性文さん

男十七人女十三人を持つ典農町五〇五趙性文さん(五〇)は十人の父親として今恵まれた生活をしてゐる先づ男子側からあげれば長男東雲君(二)は慶應醫専に通勤、次男東興君(こ)はさる注意會社に、三男興雲君(こ)は父と共に家の業を扶けてゐる、その下には相雲君(こ)國民學校(一)があつてこれが一番の末ッ子だ、次に女の部では長女が實子(三)さん(こ)でこれは二年前にお嫁に行つた、次女漢甲さん(こ)も近くお嫁に行くさうだが、それまで二つ上の興淑さんに協力して家事に勵んでゐる

これから下はずつと下つて實分さん(こ)がゐるだけだが以上十人の兄弟姉妹を生んで手際よく育てたお母さんは金方亀さん(こ)だ、夫婦子供揃つて健在であることは子福者家庭の中でもちよつと珍らしい方だ、お父さんの趙性文さんの商賣は運送業が本職だが一方には雜貨屋もやつて家庭の生活はずつと楽だ

以上が大體の趙家の說明であるがこの子福者も最初からこんなに澤山子供が調子よく生れたのではなかつた、趙さん夫婦が結婚したのは同じ十四歳の春、ちよつと早過ぎたので神はしばらく子供を授け給はず漸く五年目、つまり夫婦が十九になつた時初めて東雲君が呱々の聲を擧げたのであつた、それからのちは誰に憚ることもなく二年每に子寶をあげて末ッ子の在雲君が生れるまで息も吐がせず十人を生み通して來た、その後はどうしたことか旺んな機能をぴつたり止めてしまつたので近所から惜がられてゐる、趙さんに聞くと

これだけは神樣の御心ですから仕方がありませんよ、でも十人ですから自慢したつてよいでせう

と顔面で語へたその顔は寫眞で光る誇りの笑顔、すべては神より與へられた人のやうな顔さした、趙家の長男の東雲君のいふところによれば

「僕等は兄弟が澤山だから賑やかだ、父も幸福ですよ、兄弟喧嘩なんか一度もやつたことはない」

父に代つて自慢するのだが、次男相雲君は

「ウソだい、兄ちやんはこないだ僕の頭をコツンとやつたぢやないか」

と大勢の兄ちやんへ議論なしに喧嘩をした……だが平和な家の笑聲が漂つてゐる

【寫眞】前列右から在雲、實分、培、興雲、相雲、漢甲、興雲、後列右から東雲の子寶と後列が兩親

娘さんの抗議

街の慰問袋

お婆さんの心配…

…本當に濟まないと存じます、娘が職場に進出するのも止むに止まれぬ時代の波に乘つてのとですもの、多少の利害や一長一短はあらうといふものですわ、だいち私が會社に勤めはじめてつくづく感謝しますことはお金の有難味でしたわ、今まで何の氣なしに五圓十圓と弟つかさんにおねだりしてたのが大へんな罪のやうな感じでんですもの……

すし、一日八時間會社の椅子に縛られてみてお金の價値が初めて身に泌みました男性とのつき合ひにしても私共のやうなしつかりした會社では問題ではないのです、却て心身修練の道場と心得て戰時下に相應しい强靭な魂の練成に努めてますの、振袖の廢止はごもつとも、振袖で給料も何もないし叱られる理由はちつとも無いわ、だつて昔から「無い袖は振られぬ」といつてる

愛國坊さん また も献金

京城元町一鬯宗大日教會京城支部大久保宗龍氏は八日龍山署を訪れ寒行で得た淨財五十圓を國防献金として寄託、係官を感激させてゐるが、同氏は先にも國運隆昌、出征軍人の武運長久祈願祭を執行四十圓を献金した、奇特な"街の愛國坊さん"である、なほ當日この外に同署に依頼された國防献金者は次の通り

金五十圓、府内京町一四岩杉シカさん外三名

の時報に早くも百萬府民は陷落の日を祝ふ祝賀準備に大童だが、龍山郵便局でもこの意義ある獅島陷落の日を永久に記念すべくシンガポール陷落祝賀記念貯蓄を實施、管内の目標額三萬圓達成を目指して戰ふ國民の愛國心に遡へることとなつた

なほ同局では、この目標額達成に判任官五百圓、雇員三百圓、傭人二百圓の募集責任額を振當て文字通り總掛りの構へで陷落の日から三日間を積極的勤務に乘出す

んだもの、締切は三月十七日まで、入賞者氏名は三月十日までに本紙上で發表、賞品は一等五十圓一名、二等三十圓二名、三等十圓三名外に佳作五名五圓宛となつており何れも事變國債又は報國債券で支給される

廿八町會事務所へ電話架設

百萬愛國班員の手足となつてゐる町會事務所の報文傳達を迅速ならしめるため今回遞信局の特別な計らひによつて府内廿八ヶ所の町會事務所に九日一齊に電話の取付けを行つたが西部町聯合會の各町會でも一齊にこれが取り付けを行つた

文室振一氏母堂

府西部出張所々長文室振一氏の母堂姓女さん(八)は府泉町二二の自宅で療養中十日午前一時卅分逝去したなほ告別式は十二日午後一時自宅で執行する

税金は必ず期間内に納めよ

税務署から府民へ御願ひ

第三種所得税第三期分、個人臨時利得税第三期分、地税(附加税共)第二期分の納期も愈よ來る二十八日限りとなつたので府税務課、税務署、税務監督局では日本一滞納者の多い京城府だけに今度はかかる不名譽な記録を一掃しようと懸命になつて府民の自覺を促してゐる

納付場所は府廳内府金庫、府内各郵便局で二十五日から二十八日迄は夜間も午後六時から九時まで取扱ふ

『交通童話』を懸賞募集

財團法人京畿道交通安全協會では今回交通事故防止、交通道德普及のため交通童話の懸賞募集を行ふが童話は四千字以内で用語は國語とし成るべく時局色を多分に織込

ラヂオ

十一日(水)

朝

▲六・二〇肇國の大理想(四)文學博士中村孝也▲七・二〇國民の誓—靖國神社記念殿より中繼▲九・〇〇國民奉祝の時間日本放送合唱團▲九・一〇(大)紀元節の橿原より—官幣大社橿原神宮より中繼▲一〇・〇〇吹奏樂一、大行進曲『建國』二、序曲『黎明』三、軍歌附行進曲『ハワイ大海戰』四、圓舞曲『御社の朝』五、軍歌附行進曲『マレー沖の凱歌』六、前奏曲『戰捷』海軍軍樂隊

晝

正午合唱一、日のむすび二、朝の行進曲三、雪の歌四、僕等の團結五、世界の果の果までも六、アジヤの力 日本放送合唱團▲一・〇〇建國祭東京陸上式典實況—九段靖國神社外苑廣場より中繼—詩吟(一)イ、紀元節ロ、偶成ハ、海軍凱歌 小笠原賢司(二)イ、紀元節ロ、法華門着中作ハ、開海陸戰勝有感 杉山久一▲長唄『行年島』吉住小四郎外▲一・〇〇(城)京城女子中等學校音樂大會—京城府民館より中繼—

夜

六・〇〇お話と唱歌『輝く紀元節』東京市岬國民學校兒童、お話『伸び行く日本』男爵三荒芳德▲六・三〇俚謠(錄音)一、車の唄イ、黒田節ロ、面白節ハ、栗城木遣二、祝ひ唄イ、松坂節ロ、ゑんぶり▲七・三〇獨唱・合唱と管絃樂、獨唱山内秀子外、交響曲『海道東征』▲八・三〇講談〃名醫と名優〃大島伯鶴▲九・〇〇國史劇〃蒙國〃河原崎長十郎外

第二

六・二〇コドモの新聞、お話春山潔▲七・二〇講演『肇國の大理想と臣道實踐』▲七・四〇『家庭劇』高在天外▲八・〇〇雅樂—李王職雅樂部より中繼—▲八・二〇家庭小說『淸水の勝利』金幸英

愛の赤道【1】

竹田敏彦(作)

都竹伸一(繪)

家鄕の謎(一)

沼津驛を離れた上り急行列車は間もなく轟々の響きを立てゝ、黄瀬川鐵橋の上を走つてゐた。

午前六時を過ぎたばかりだが、列車内の夜明けは早い。

曙の色が白々と、車窓のガラス戸にほのめきそめると、夜つぴて窮屈な座席にうづくまつて、眠りきれない身を持てあましてゐた三等車内の乘客達は、もう待ち兼ねたやうに半眠の眼を見開いて、八方でざわめき出した。

大きな生欠伸をする者。眼鏡しの煙草に火をつける者。洗面所で押し合ふ一群。その騒音に眼を醒されて、むづかり出す子供の泣聲。

「ほうら、ね、あんな綺麗なお山、ね、お富士山……」

母親らしい女の聲もする。

その時だつた。今しも洗面所の方から戻つて來て、齒ブラシ、石鹸入、タオルなどを纏めて、傍の旅行鞄にをさめてゐた一人の青年が驚いたやうに窓の方を見上げた。

靈峰富士の威容を仰いだのである。

古いトランクの胴には、新しく貼られたレッテルが目立つて、その上に「ウエハラホテル、ダバオ、ヒリッピン」の英字が鮮かに讀めた。

さうだ、この青年は長い間、日本を離れて、遠い異國に日本を懷ひ暮してゐた者に違ひない。

すると、向ひの席にゐた年頃四十近い背廣服の男が、ちらとその文字に眼をつけて、

「失禮ですが大分お遠いところからお歸りのやうですが」

馴れ馴れしく青年に聲をかけた。

はつと我に返つた青年は、咄嗟の質問にちよつと口籠つたが、

「はあ、さうですよ……」

ぶつきら棒の返答をしたまゝ、急いでトランクの蓋を閉ぢた。男は青年の無愛想にちよつと取付く島を失つた形だつたが、

「いや、失禮しました。ついお鞄に貼られた旅館のレッテルが、眼についたものですから」

苦笑しながら、自分の無躾を、その場の氣拙さを繕ふやうに辯解した。

「いいえ……」

青年も、……の言葉を……はるやうに……つたので、……と救はれた……その男は、

「ヒリッピンの方に、いらつしやいましたか」

いかにも話好きらしく、重ねて親しげに訊ねた。

「はア、ダバオの農園で、麻を作つてゐ

日の出は遙か東南方に伊豆半島の山塊に遮られて、田圃も、あたりの山々も、すべてはまだ冷たげな眠りの中に眠つてゐたが、紺碧の中にそゝり立つ靈峰富士の嶺は、もう新鮮な朝日の光を受けて、薄紅色に輝く雪の嶺を高々と區切つて……

「おゝ……」

思はず唸るやうに洩らして、一瞬瞼を閉ぢるのも、きつけられるその姿に、同時に、

……は、靜かな微笑ひを湛へた。

商業登記公告

中風なら此の良藥で

半身不隨の私が今では快方の域に達し

長野縣下伊那郡喬木村 宮西芳太郎氏

小生は昭和十二年一月元旦の夜右半身不隨となり身うごきも出來ず誠に困り居りました苦痛に苦痛を感じ居る際キングにて貴院の廣告に中風藥南山壽之れ有るを見て助け藥なりやと氣付き懇願に及びし處早速御送藥下され御指導通り服藥なせし處効果現はれ漸次頭痛其他全身心持よく身體立直り南山壽藥の効果にて快方の域に達し只今では起居勞働を致して居ります之れも貴院良藥南山壽の賜ものと家内中喜び心から感謝致して居ります。尙信州に廣く中風病者に南山壽の効果を御進め致します。

試藥進呈致します

當院は「南山壽」殿布元たる當院に集まつてゐる病狀の中から其の一部を紹介したるものですが、この良藥「南山壽」の効能事項は只中風に罹る腦溢血、卒中、半身不隨、動脈硬化、血壓亢進の諸症に効能を顯す專門藥であります。

「南山壽」には中風症に效能ある原藥七種が嚴選配劑されてゐますが、中風で足腰立たず人手をからねば寢起きの出來ない人や、舌をツレする人、手足シビレ歩行困難な人、等は早く此の「南山壽」を試みられんことをお勸め致します。尙又、動脈硬化や高血壓で不安な狀態にある方は是非豫防藥として此の「南山壽」を服用なさる樣併せてお勸め致します。目下幸ひ當院山

當院では「中風自宅療法說明書」といふ中風の原因から症狀、治療法や豫防法迄詳しく書いた小冊子と此の良藥「南山壽」の試藥を同病者の爲に特に無料で贈呈中ですから、希望者はハガキに「病名」を必ず附記して熊本市春竹町驛西通一三〇一 南山堂宛に直にお出し下さい。

商業登記公告

模型飛行機材料

タイピスト生徒

株式會社

第壹回……

澁尿性病 皮膚科 外科 高峰醫院

京日案内

花柳病

タイプライター

職員募集

鶴川印刷所

至急募集

朝鮮紡織會社

明治製菓賣店

女店員採用

雲母開發販賣

女子タイピスト事務員募集

朝鮮武田藥品

特別案内

求妻　求讓　求む　求家　貸家　生産　電話　質問　募集　內勤　女事務　看護　社員　外務　女中　雇人

第一劇場　子寶　大陸劇場　中央劇場　大東亞戰爭　孫悟空　喜樂館　京日文化　國技大相撲　京城寶塚　三門傳　東洋劇場　明治座　朝日座　桃花劇場　靖國神社　新富座　城南劇場　東寶若劇　日本ニュース　和信　京劇　浪花館　大陸劇場

京城日報　夕刊

南總督・半島人の進路喝破す

皇國臣民に生きよ

"東條聲明"曲解せば斷乎たる處置

大東亞戰爭勃發以來忠勇無比なる無敵皇軍の赫々たる大戰果は遂に米英の東亞に於る最大據點シンガポール島に突入、帝國の大東亞海制覇は將に成らんとしつゝあるが一方帝國の理想とする大東亞共榮圏建設の構想も逞しき新秩序の息吹の中に着々實行に移されんとしてゐる

今や朝鮮に生を享けたる半島人は皇國臣民として大東亞諸民族の中核となり之を指導啓發し八紘一宇の大精神を中外に發揮、以つて皇道を世界に宣揚しなければならぬ重大時期に當面、半島人たるものこの際この榮譽に感泣して"半島人の進むべき大道は忠良なる皇國臣民たる以外に無し"との確固不動の信念の下に臣道實踐、職域奉公に邁進しなければならぬ、この重大の秋に當り南總督は十日の定例局長會議の席上、重大訓示を行ひ斯る徒輩の迷妄を是正すると共に斯る言動を爲す者に對しては斷々乎として處斷する嚴たる方針を闡明、大東亞戰下半島二千四百萬民衆の向ふべき大道を明示するところがあつた、南總督の重大訓示概要次の如し

大東亞共榮圏建設に關する東條首相の議會に於ける聲明を誤解するものなきにしもあらず、これらに對しては『半島人の進むべき大道は忠良なる皇國臣民たる以外に無い』と云ふことを明かにして迷妄せしめないやうにする事が必要である、しかもなほ斯る言動を改めないのみならず故意に之が言動をなす者には之に峻烈なる批判を加へ斷乎たる處置を執ると共に萬遺憾無きを期すべし、

そもそも内鮮一體と云ふ言葉は半島二千四百萬民衆をして忠良なる皇國臣民たらしむる意義を端的に表明したものであるにも拘らず之を曲解又は之を故意に濫用して紛淆を生ぜしめんとする者があるやうであるが、之等の言動に對しては官公吏の指導的立場にある者は之を默視すること無く、進んで之を是正し、之を撃滅するやう部下を指導されたい

南總督

獅港上陸部隊、破竹の急進

忽ちテンガー飛行場占領

先鋒早くも市街に肉薄す

【大本營發表】（十日正午）シンガポール島要塞を猛攻中の帝國陸軍部隊は執拗なる敵の抵抗を撃摧して昨九日午後七時テンガー飛行場を完全に占領せり

【シンガポール島特電】（十日發）九日夕刻テンガー飛行場を占領せる○○及び○○兩上陸部隊は午後八時半シンガポール飛行場の線に進出、引續き市内に向け猛進中【シンガポール島十日同盟至急報】シンガポール島内に戰果を擴張中のわが○○部隊は九日午後一時卅分テンガー飛行場西北地區に進出の餘勢を驅つて一擧に同飛行場を占領、その一部は同七時引續き前面の敵を攻撃中

敵十機を鹵獲

【シンガポール前線にて十日同盟】ジョホール水道の渡過に成功した各部隊はわが優勢なる航空部隊ならびに○○部隊の密接な協力のもとに各所に白兵戰を交へつゝ敵の執拗な抵抗を排除して前進を續け九日午後七時○○部隊はテンガー飛行場を完全に占領、引續き同飛行場東側テンガー河に進出、當面の敵を猛攻中である、テンガー飛行場において飛行機十機、高射砲二門を鹵獲した

コースウエー橋確保

精鋭更に續々と上陸

【ジョホールバール十日同盟】コースウエー橋東側對岸の上陸に成功した○○部隊は引きつづき西方に向つて進撃、附近の敵トーチカを逐次奪取し九日深更コースウエー橋南端に到達、コースウエー橋を確保した【ジョホールバール十日同盟】コースウエー橋西岸地區の敵前上陸成功に呼應し、さらに精鋭○○部隊は九日午後十時十五分同橋東側對岸○○への敵前上陸に成功、同地區一帶の要塞を制壓した、また伊藤、岡、中島の各部隊も○○河東方地區の敵前上陸に成功した

英軍に致命的打撃

テンガー飛行場失陷

【東京電話】わが猛攻によつて八日遂に占領されたテンガー飛行場はシンガポール西北地區テンガー河畔に位し長さ八百五十一メートル、幅七百二十メートルの良好な飛行場である、施設としては格納庫五棟、その他材料庫、燃料庫などを備へ爆撃隊二ケ中隊を收容し得る、但し大東亞戰爭勃發後諸施設を擴張、今日においてはその收容能力は遙かに增大してゐる

シンガポールは西北地區にテンガー飛行場あり北方地區にセレター水上飛行基地、同島中央部にセンバワン飛行場あり、この三飛行場を基幹として英國はシンガポール防備の據點たらしめ、スピットファイヤー、バッフアローなど多數の最新鋭機を集結して要塞上空防禦の完璧を期するとともに遠くマレー北部地區に侵攻してわが軍の進攻を妨害するに躍起となつてゐたものである、しかるにわが方の精強なる航空部隊は終始これを壓倒殲滅し、この飛行場がしばしくわが戰爆連合の好餌となつたことは大本營發表で見たところである、同飛行場の占領はシ島防衛に果した役割は重大であり、それだけにこれが失陷は英軍にとり致命的打撃となるであらう

蘭貢市民に撤退勸告

【リスボン九日同盟】BBC放送によればビルマ英當局は九日ラングーン市民に布告を發し戰爭遂行上已むを得ざるものを除く一切の市民は出來得る限り速かにラングーンを撤退すべきことを勸告した

陸鷲、ビルマ各地を猛爆撃

【○○基地十日同盟】サルウイン河周邊のわが地上部隊の活躍に呼應陸軍航空精鋭部隊は九日終日大編隊をもつて出動各所に英軍大部隊を捕捉これを殲滅した、既ち戰爆連合の大部隊は地上部隊前面の○○部落に敵部隊を發見これを完全に粉碎、同部落南側において鐵道を爆破不通に陷しめた、また他の一隊は敵の要衝○○を爆撃全彈を命中せしめ、さらに他の一隊は○○において敵自動車群を發見、これに猛爆を加へその七輛を破壞するとともに市街を爆撃、數個所より火災を起さしめた、また○○驛では軍用列車を發見、三列車のうち一列車を炎上、一列車に直撃彈を命中せしめ軌道を破壞するなど各所に大戰果をあげ、全機無事基地に歸還した

比島方面戰況

敵陣に猛砲火

【リスボン九日同盟】ワシントン來電によれば米陸軍省は九日比島方面の戰況につき次の如く發表した

一、○○沿岸に構築された日本軍砲兵陣地は米軍沿岸防備施設に對し猛砲火を浴びせ來つた

一、日本軍はしばしば米軍陣地に突入せんと試みた

一、日本軍急降下爆撃機編隊は米軍陣地を猛襲した

防衛狀況を御視察

東久邇宮殿下御來鮮

朝鮮軍報道部發表（十日十二時）＝防衛總司令官東久邇宮稔彦王殿下には朝鮮の防衛狀況御視察のため二月七日十二時十分京城飛行場御着、直ちに軍司令部に御成り遊ばされ板垣軍司令官より半島防衛に關する狀況を具さに御聽取あらせられたのち朝鮮神宮に御參拜、御宿舍半島ホテルに入らせられた、八日との日程は軍隊のほか嚴しかりしに拘らず外套を召させられず板垣軍司令官の御案内にて御熱心に軍防衛の實情を御視察遊ばされ將兵一同いたく感激、防衛警備の陣をいよいよ固くすべく決心を新にした、九日八時四十分京城飛行場御發にて空路大邱に、ついで汽車にて十二時卅分釜山驛御着御少憩ののち鎭海灣要塞司令官の御案内にて同港附近の防衛狀況を御視察遊ばされたのち御機嫌いと麗しく二月十日十二時大邱御發、空路御歸還遊ばされたり

總督府情報課發表　午後零時　東久邇宮稔彦王殿下には防衛總司令官として御視察のため二月七日御來鮮あらせられたが、八日午前十一時十分總督官邸に御成、總督より民防空の施設について說明を御聽取、御滿悅の御樣子にて途の施にいさゝかのお疲れあらせられず引續き總督の御招待に御臨み遊ばされ更に午後三時半より半島ホテルに鮮內時局産業關係者卅數名を御召になり、總督、軍司令官以下本府および軍司令部關係首腦にも御陪席を許され長時間に渉り御熱心に鮮內産業事情を御聽取遊ばされ、終つて一同に茶菓を賜り御機嫌麗しく御款談の時を御過し遊ばされたが、その有難き御思召と光榮には一同痛く恐懼感激してゐる、殿下には更に九日早朝京城御出發、釜山を御視察、十日午前九時より鐵道ホテルに於て西岡慶南知事より同地の民防衛狀況をも詳細御聽取遊ばされ、同日御機嫌麗しく御退鮮遊ばされた

軍司令部御成り（第一日）

七日午後零時十分御到着の東久邇宮稔彦王殿下には、御附武官藤田中佐を御隨行、七日午後零時十分御着、板垣軍司令官以下、本府各局課長、朝鮮軍司令部將校多數御出迎への裡に、空路御機嫌麗しく京城飛行場御着、長途の御旅にいさゝかのお疲れあらせられず御元氣に機上より降り立たせられた、殿下には飛行場貴賓室にて御少憩の御後自動車にて軍司令部に御成り半島の防衛狀況につき高官より種々御聽取の御後、午後二時廿分軍司令部御發、朝鮮神宮に御參拜あらせられた

總督官邸御來臨（第二日）

神前に玉串を奉奠あらせられた御後御宿舍半島ホテルにお入り遊ばされた、なほ同夜は午後六時卅分より軍司令官々邸における晩餐會に御臨席あらせられた七日夜半島ホテルに御一泊あらせられた東久邇宮稔彦王殿下には八日午前十時五十分自動車にて總督官邸に御來臨、奉迎の南總督と民間防空その他につき暫く御懇談の御後同十一時五十分より總督府高等官に御入謁を賜り引續き一般拜謁者に御會釋遊ばされた、終つて午後零時五分、總督官邸における午餐會に御臨席、南總督はじめ在城各局長、官房各課長など四十一名に御陪食仰せつけられ御食事中にも民間防空その他民情につき種々御下問あらせられ、同一時十分御陪食の御後半島ホテルに御歸還遊ばされた

御寫眞＝朝鮮神宮御參拜の東久邇宮殿下

十七年度總豫算案

貴族院本會議通過、成立

【東京電話】十日の貴族院本會議は午前十時廿六分開會直ちに日程に入り

一、昭和十七年度歲入歲出總豫算案ならびに昭和十七年度各特別會計歲入歲出豫算案

一、歲出豫算追加案

一、昭和十七年度歲入歲出總豫算追加案

一、昭和十六年度歲入歲出總豫算追加案

一、昭和十六年度各特別會計歲入歲出豫算追加案

一、昭和十七年度各特別會計歲入歲出豫算追加案

一、歲出豫算追加案

一、豫算外國庫の負擔となるべき契約をなすを要する件

一、豫算外國庫の負擔となるべき契約をなすを要する件

を一括上程、林委員長より委員會の經過ならびに結果を報告、長岡半太郎氏（無所屬）より技術院設置に關して質疑をなし

東條首相　わが國科學技術の向上については夙にその重要性を認めその飛躍的發展を期するため、今回技術院を設立したのである、今後諸方面の資源に對してはわが科學技術の力を活用してこれを開發するとともに民間の科學技術の活用にも一層遺憾なきを期したいと思つてゐる

井上技術院總裁　わが國科學の振興方針の第一着手として科學の基礎研究を完成するとともにその應用研究にも一層力を注ぐつもりである、民間においても政府の方針に協力せられんことを期待する

かくて討論に入り大河内正敏子（研究）、添田敬一郎（公正）の兩氏より贊成演說あつて採決に入り全會一致委員長報告通り可決、かくて八十八億三千七百萬圓に達する明年度總豫算案ならびに十六年度追加豫算案は去月廿一日衆議院で審議を開始して以來廿日間をもつて無事通過成立、午後零時卅五分一旦休憩

獨、ソ聯一個師潰滅

【ベルリン九日同盟】ドイツ軍司令部九日の戰況發表によれば東部戰線における赤軍の損失は左の如く甚大である

赤軍は東部戰線における大損害に拘らず攻擊戰を實行してゐる、とくにドネツ戰線一地區においてはこゝ一週間に赤軍一個師團を潰滅、俘虜一千餘、死傷數

入城近し

わが後續部隊續々と渡過

【ジョホールバール九日同盟】シンガポール島の歷史的上陸に成功した九日夜、朝來の猛烈なわが航空部隊の爆音と砲擊も靜まり敵の砲も全く沈默してしまつた、わが機關銃の音も次第に遠ざかり皇軍の猛追が思ばれる、八日夜來敢然たる渡過戰を演じたジョホール水道は何事もなかつたやうにもとの靜けさに返つてゐる、ただ昨日と違ふのは皇軍の舟艇が續々とつぎ後續部隊を渡してゐることだ、上陸地點附近にはわが巨砲が射ち込んだ砲彈の巨大な穴が口を開いてゐる、時々思ひ出したやうに遠くで大砲の音がする、シンガポールの要塞に射ち込んでゐるのだ、連日燃え續けた重油タンクは依然赤黑い火を吐いて目睫に迫つたシンガポール陷落の姿を物語つてゐる、續々渡過して行く勇士達は早くも晴れの入城への心組だ

インフレ防止に重慶を利用

米の援蔣眞相

【リスボン七日同盟】東亞戰局による自國の軍需の增大と緬甸公路の杜絕の結果援蔣物資輸送が事實上不可能となつた米國が最近突如重慶政府に對し五億ドルの新借款を供與した眞相については種々取沙汰されてゐたが、七日ニューヨーク經由當地に達したユーピー電報は新借款の用途に關聯して今回の私的援助が法幣の增發による惡性インフレのため破綻に瀕し自滅自棄に陷りつゝある蔣政權の財政經濟を米國の信用を利用して救濟し、その反樞軸陣營よりの脫落を防止する目的を有することを明かにしてゐる、すなはちユーピー電が重慶財界筋より得た情報として傳へるところによれば

昨年中の法幣增發は約四十億元で現在の發行總額は少なくとも百二十億元以上事變前の約十倍に達し、通貨膨脹と惡性循環の結果奧地物價は天井知らずの暴騰をつゞけ殊に大東亞戰勃發後は外部から援蔣物資輸送が事實上停止されたのでこの傾向が激化したため、重慶政權は米國に對しこのまゝでは抗戰を中止するほかなしと恫喝し漸く新借款を得た模樣で、今回の新借款を引當として多額の內債を發行し法幣の吸收に努め、高物價の抑壓と財政の破綻を彌縫する方針といはれる、しかして新借款五億ドル中對蔣援助に實際に使用される金額はルーズヴエルトの裁量に委されてをるので判明しないが、對米償還の方法は奧地土産品輸送の不可能な現在適當な手段なく戰後に待つほかないとされてゐる

これに對し［illegible］消息筋では新借款は法幣に換算すれば彪大な額に上るとはいへ、五年にわたる抗戰に疲弊困憊の極に達してゐる抗戰支那の民衆が米國よりの物資輸入の途のない現在、敗戰の一路を辿る米國の貨幣の信用を那當にして敗戰的內償にどの程度顧慮するか頗る疑問で、新借款は法幣增發阻止に大した效果をあげ得ず反對に重慶政府の窮狀を暴露する結果に終るであらうと見てゐる

日本軍猛進擊

英側戰況發表

【リスボン九日同盟】九日午後當地に達したシンガポール電はシンガポール戰線の戰況を次の如く報じてゐる、ジョホール水道渡過を敢行した日本軍は同島地域の數ケ所に上陸、これを死守せんとする英軍との間に猛烈なる白兵戰を演じたのち優勢なる砲擊を手力器として猛進擊を續けてゐる

泰佛印國境確定進捗

【サイゴン九日同盟】泰・佛印國境確定に關しては大東亞戰爭勃發にも拘らず日本側および泰佛兩國側委員の眞摯なる努力により順調に進行しつゝあつたが九日南佛印ダラットにおいて日本側矢野首席、委員、フランス側ロック、ラオス理事長官、泰側シットト氏ら各首席委員が出席、矢野氏を議長として確定委員會第三回會議を開催、スツンコンポト、スツンドントリ兩河口の決定確認をはじめ數件を決定、確定事業はこゝに一大進捗を見るに至り委員會から右に關する共同コムミユニケが發せられた

獨軍需相にシユペール博士

【ベルリン九日同盟】ドイツ政府は七日航空事故のため逝去したドイツ軍需相の後任として建築長官シユペール博士を起用することにし九日軍需相兼道路組織長官、水利發電長官に正式に任命した

鐵道局長會議開催日を變更

二月十三、四兩日開催の筈であつた地方鐵道局長會議は十六、七兩日午前十時から開くことに變更された

＝人＝

◇弘中良一氏（弘中商工社長）十一日夜東上

◇江塚惣平氏（同常務）同上

◇田村浩氏（朝鮮商議理事）東上中のところ廿日歸城の豫定

◇中富計太氏（殖銀監事）內地旅行中十一日"あかつき"で歸城

時の錄音

皇軍作戰の至妙を發揮してシ港に無血敵前上陸に成功した。

×

もはやお仕舞だと敵軍司令官は悲鳴をあげてゐる。

×

この悲鳴こそ英帝國沒落最後の悲鳴だ。嬉しいなのである。

×

かくて英國百年の東亞搾取は大東亞から放逐されるのだ。

×

新大日本海は輝かしい黎明が來たのだ。然も　聖恩は遠く濠洲に及ぶ。

×

シ港敵前上陸で甚だにあがる凱歌、歡聲の渦。それはよい。

×

それはよい。然し、斷じて浮つ調子は許されぬぞ。

定例局長會議

十日の定例局長會議は午前九時半から同十時まで開催、出席各局部長の事務報告に次いで南總督より別項の通り戰下半島人の歸趨を明示する斷乎たる訓示があつた、（各局長報告內容次の如し）

鈴川司政局長　婦人の啓發運動に關しては近く實踐要綱を作成し聯盟指導委員會の賛助を得て全鮮的に活潑な展開を見せるはずである、大日本婦人會朝鮮本部は本月末か三月初旬に結成式を擧げるべく目下準備中である

三橋警務局長　全鮮の警防團員の赤誠籠つて陸、海軍へそれぞれ軍用機一機宛を獻納すべく目下計畫中である、昨夏以來の防空監視隊員の勞苦に對し朝鮮防空協會では紀元節の佳日をトし優良隊員六百名、優良隊二百隊をそれぞれ表彰する

新貝遞信局長　本月五日以來日本海におけるソ聯製浮流機雷の掃海中であるが六日には早くも大型機雷一個を發見處理した

渡部文書課長　戰捷の春を寿ぎ總督府では一月全職員の國防獻金を募つたところ總額一萬三千三百三圓六十六錢に達したのでこの程所定の手續を了した

倉島情報課長　シンガポール陷落を契機として朝鮮における今後の輿論指導啓發方針について說明

石田厚生局長　私設社會事業獎勵のため本年も紀元の佳節にあたり京城和光教園ほか六十三團體に御下賜金の御沙汰があらせられた

山澤農林局長　最近の米の買上狀況は豫定通り百％の好成績を示してゐる

紀元の佳節に光増す人々

全鮮から十二名

社會教化に獻身の功績者表彰

大東亞戰下第二千六百二回を迎へる紀元の佳節に當り總督府では例により半島の行政方針に協力し多年に亘つて社會教化に獻身した功績者を各道から一名づつ表彰することになり慎重各功績者を審議した結果、南海道を除く各道から十二名の人々が表彰の光榮に浴することに決定、十一日の佳節當日各道知事から表彰狀及び金一封を授與されることになつたが、被表彰者氏名とその功績は次の通り

▲頭山滿氏（會社員）京城府新堂町七ノ八＝鄕氏救濟の傍ら府營商業、南大門商業、京城商業學校等を設立、その他社會事業後援、府政方面事業の改善向上に努力した

▼安田泰生氏（農業）京北郡西部水汗面歐西里＝文盲退治を心掛け小農家の生活改善、部落振興の外、一般人に絶えず時局認識を深めることに努力した

▼朝本俊植氏（精米業）忠南青陽郡飛鳳面梢川里三一＝民心の指導啓發、生産擴充、二重過繰の是正、色衣着用の獎勵、迷信打破、生活改善に努力し、畜産獎勵事業にも活動した

▼福川頂顕氏（總督府囑託）全州府完山町五二五ノ一三＝全州育英學校、孝風會を設立し、浮浪兒の指導、内鮮一體の具現、皇道精神の宣揚、總力運動、創氏制度の周知に功があつた

▼玉岡新路氏（無職）全南谷城郡谷城面邑内里＝民衆の心田開發、青少年指導、國體明徴觀念の鼓吹、その他婦人教養、生活刷新などに挺身した

▼藤井忠治郎氏（慶北 教濟管理事）大邱府南山町一三〇＝貧民救濟、行旅病者に對する無料救生の講話、孤兒救濟などに不斷の努力を捧げた

▼高橋仙太郎氏（農業）慶南密陽郡三浪面加川里六七一＝開墾事業その他多岐に亘る農事改良に從ひ地方教育會のために奮闘する一方小作料免除、部落民の精神作興に努めた

▼王島定錫氏（農業）平南鎮南浦府億兩町一〇一＝初等教育界のために凡ゆる活動をなし、青壯年層の教化訓練のために……

教育功勞者十八氏

紀元の佳節當日、各道知事によつて教育功績者を表彰……は左の十八氏に決定、それぞれ記念品を授與……

かくて渡過せりジョホール水道

點一點、征く舟艇

思はず拳を握る一瞬

【ジョホールバール郊外にて九日同盟】マレー半島千百キロを席捲し遂にシンガポール島に敵を壓縮したわが精鋭部隊は、ジョホール水道マレー岸に砲をならべてシンガポール要塞に激烈の猛攻を續けつゝあつた、攻撃の準備成つた

すでに四日以來

晝夜間斷なくつゞけられジョホール州南部一帶の天地を震撼しつゝあつたが、遂に戰機は全く熟し、九日午前零時を期して難攻不落と自他ともに許したシンガポール島敵前上陸作戰を開始したのだ、八日午後六時、記者はジョホールバール西北に聳えるジョホール王宮の塔前に立つてこの世紀の渡過作戰を見極めた、眼下にあるシンガポール島と水道を挾むマレー岸一帶の風景はジャングルの濃緑色を背にさながら瀬戸内海の美觀を彷彿せしめ、數時間後に迫つた戰爭の場所とはおよそ相應しからぬ眺めだ、目を左方に轉ずれば島内深くゴム林の中から上る石油タンクの火の手は依然として燃えつゞけてゐる、油を流したやうに輝く夕陽の中に横たはるジョホール水道の水面、これに對する〇〇にはわが精鋭がすでに息をひそめてひしく〳〵と詰めかけてゐるのだ、正七時遙か後方のわが巨砲陣は一齊に再び砲門を開いた、一轟々轟々たる砲聲は地軸をゆるがしゴム林をつんざき〇〇の大轟響に反響、記者の寫眞機はためにはたく〳〵とゆれるつぎの瞬間見事な着彈が對岸に白煙を噴いて立ちのぼる、つゞいてまたスーッと黒煙が上る、命中彈だ、日本時間の九時、やうやく酷熱の太陽がシンガポール島の南西角に沒するころまでこの巨砲の咆哮は遂に止まなかつた、テンガー飛行場邊りと思はれる個所から火の手が二つ上つた、敵の砲兵觀測所は根こそぎふつ飛んで火を發してゐる、十時全く砲聲は鳴りを鎭め星が滿天に輝き出したころ、突如正面の對岸から探照燈が輝き出し瞬間、ジャングルは煌々と照らし出された、サーチライトの光芒は、舐めるやうにマレー岸をゆつくりと左から右へ延びてゆく、約二分にしてすつと消える、十時半ごろまたサーチライトが同じやうに〇〇泊地を明々と照らした、光の帶は熱帶樹の一本一本をくつきりと映し出す、もし渉渦中に照らし出されたら

どんなに犠牲が

出ることかと思ふと武者振ひともつかぬ緊張が記者の胸のうちに起る、勇士は如何にこの敵艦を制壓するであらうかと氣遣はれる、石田の陣に隠れて剛射する、十一時五十五分、又しても巨砲陣は一齊に砲門を開いた、これはかつて聞いたどんな音響よりも激しい音の氾濫であつた、この美しく……築かれた王城が足元からぐら〳〵と崩れるやうだ、つひに耳を聾うた、耳のなかにありありと發音となく砲彈が物凄く炸裂するのを感じた、時計は十二時を指した、記者は思はず鋼の手摺を握りしめてほの白く輝いてゐるジョホール水道の水面に眼を凝らした、あゝ小艇が行く、點一點、ジョホール水道の油のやうな海面に點點いしたよりのやうに、悲壯な勇士の態度に緊張した呼吸の響きが夜氣にのつてこゝまで聞えて來るやうだ　決死の勇士を送り出したあと後續部隊全員が思はず拳を握りしめた、依然對岸には何ごとも起らない、探照燈も光らない、痛烈な猛砲撃に敵膽は全く奪はれ去つたのか、そして、あゝ、信號彈は上つた、時に零時十六分、記者は無人の廻廊でこの喜びを分つものを探すかのやうに思はず邊りを見廻して胸を叩いたでかした、つひに英帝國東亞策源の難攻不落と呼號した「東亞のジブラルタル」は斷れ無血をもつてわが脚下に稽けつたのだ、やがて英國射ち出す皇軍の聞き慣れた機銃の音がする、引續き

信號彈は次々と

敵陣に上つた、遙か南西の水道陸軍地帯から機銃音が響き出した、今さら何をしようといふのか、勇士らはすでにゴム林深く突進んで行きつゝあるのだ

忌明獻金【海軍】府内新……町宮本……氏は亡父の忌明に際し陸軍へ二百圓を國防獻金した

文化

戰ふ日本と女性（下）

津田節子

ハワイ眞珠灣の戰ひで自爆した飛行機を敵艦にぶつつけるといふのは、最後の最後の最後まで、すべてのあるつたけの力をみ國に捧げてつかひたいといふ熱情のあらはれであります。

私共もこれを學びませう。衣、食、住は勿論、子供を育てることから、戰爭を戰ふことまで、大君にまつろひたてまつる生活にしたいと念ひます。さうすれば、戰力が世界一であるやうに、婦人の生活もまた世界一になれます。

今からの生活は、一にも二にもみ國のためであります。私に似合ふから好きだとか、お金があるから結婚式を盛大にするとかいふのでは駄目です。お金持も貧乏人もこれからは戰ふ日本にふさはしく生活すべきです。

久し振りで内地へ行つた人が、『内地の婦人は肚がすわつてゐる』といふことを感じたと申しました。多くの肉親を戰線に送つた女の人達の生活は、だまつてゐても自ら覺悟がきまつて頼もしい位に働く力がわいてゐるのでせう。私共もこれを考へて、つよく反省したいと念ひます。殊に半島に住む内地の婦人は、半島婦人の方々が早く日本女性とならうとする努力をお助けし、且そのお手本を示さなければいけません。

婦人の義務は生活戰に勝つことであります。それには先づ貯蓄であります。そして簡素生活であり勤勞生活でなければなりません。

父祖代々、敵に侵されたことのない祖國を守る私共は、戰力で世界第一であるやうに、すべてが世界一にならなければなりません。

ロシヤはこの訓練がゆきとゞいてゐて、第五列の働きが出來ず、獨ソ戰はそのために長引くとさへ言はれて居ります。

大東亞戰爭は、今日ではもはや主力戰はすんだといはれます。ゲリラ戰の時代となりました。危險なのであります。信じやすい日本人は、こゝが大戰みよいところださうです。他人をはせれば、日本は一番スパイの住いゝことは、半島では特に氣をつけなければなりません。外人にいにするとが出來れば、その戰ひに勝つたのであります。また防諜と勝つたのであります。子供を立派に育て上げた通りに出來れば、貯蓄の戰ひに……であります。貯金が國家の定め……日本のための日本でなくて、世界のための日本であります。一番立派な國にならなければ世界にほんとの平和は來ません。私共はみくにのための女性となりませう。子供をみくにのためにしませう。今の世に生きる私共の光榮であります。私の責任はこゝにあります。

水田春水氏筆

京の歌壇

杉本ゆき枝 選

雨天・萩松　晶子
味噌汁の香り仄かに漂へり明るき部屋の休み日の朝
夜仕事に疲れし母をいたはりの紅茶は熱くすすめむものを
　京城　渭水　光春
今日より休の上を夕雲の動きて淋き夕なるかな
もうジオは告げぬ
　仁川　砂田　雨水
完全にわが軍マニラ占領と力強く告ぐるネオンサインの齋明れ知る人もなくひとり歩めば
今日もまたラジオの告ぐる大戰果思はず膝を進めてぞきく
　京城　栗　くみを
何故に人になじまぬわが心かたくな性をかなしく思ひぬ
大いなるこころなりしよわが夫の胸にいだかれ泣かまほしく思ふ日

崔承喜の舞踊〔2〕

渥美清太郎

早春三ツ巴

三館で蓋を開ける

アトラクシヨン

◇明治座は十一日から……

明治座の經營

不連續線

國防獻金

（八日扱ひ）

本社寄託獻金

三國志〔736〕

吉川英治 作
矢野橋村 畫

一擲三城（二）

慢性と急性の淋病から救はる

珍らしい吸ひ出し古療法！